



錦乃通信

Mamiya J.H.S. School News

令和 8 年 7 月 1 日 (水)

さいたま市立馬宮中学校

令和 8 年度 第 4 号

学 校 教 育 目 標

未来を拓け ～自己の創造・生きる自信～

SINCE 1947

School Education Goal

Open your Future ～Self Creation ・ Confidence to live～

「学びの実感と成長の手応えを抱いて」

校長 衛 藤 伸 介

先週、3年生は2泊3日の京都・奈良方面への修学旅行に行っていました。台風の影響が心配されましたが、予定していた行程を無事に終え、参加した全員が元気に帰着できたことを大変うれしく思います。保護者の皆様には、事前の準備や体調管理、当日の早朝の送り出しなど、多方面で御協力をいただきました。心より感謝申し上げます。

今回の修学旅行では、東大寺の大仏殿や奈良公園、京都の清水寺、金閣寺など、日本の歴史と文化を象徴する場所を訪れました。教科書で学んだ知識が、実際の建造物や風景を前にした瞬間に立体的に立ち上がり、生徒の皆さんの表情が驚きと感動に満ちていく様子が印象的でした。特に、長い年月を経て受け継がれてきた文化財を目の当たりにしたとき、「歴史とは単なる過去の出来事ではなく、今につながる人々の営みである。」ということを実感した生徒も多かったのではないのでしょうか。

班別研修では、事前に立てた計画をもとに、仲間や現地ガイドの方と相談しながら目的地を巡り、時間を意識して行動する姿が見られました。予定を少し変えた班もあったようですが、状況に応じて最善の選択をする経験こそが「自分たちで考え、判断し、行動する力」を育てます。こうした経験は、これからの学校生活や進路選択において、確かな自信となることでしょう。

また、旅行中の公共の場での振る舞いも大変立派でした。周囲の方々への気配りや、仲間同士で声を掛け合いながら行動する姿は、3年生としての自覚と成長を強く感じさせるものでした。旅行先の方々から「バスの中で席を譲っていて感心した」「計画を守ろうとする意識が強く、とても協力的な生徒さんたちですね」といった温かい言葉をいただいたことは、皆さんの日頃の積み重ねが形となって現れた証です。こうした評価は、学校全体にとっても大きな励みとなります。

さらに、宿泊先での時間の過ごし方にも、成長の跡が見られました。友人と語り合いながら過ごした時間、自分の役割を果たした経験、夜の係会議での真剣な表情——その一つ一つが、生徒の皆さんの心に確かな記憶として刻まれたことでしょう。修学旅行は単なる「行事」ではなく、仲間とともに過ごすかけがえのない時間であり、人生の節目として残る大切な経験です。今回の旅が、皆さんの心の中で長く輝き続けることを願っています。

さて、明日からは全学年で期末テストが始まります。1学期の学習の成果を確かめる大切な機会です。3年生は修学旅行を終え、気持ちを切り替えて学習に向かうことが求められます。1・2年生にとっても、学年の前半を振り返り、自分の学習習慣や理解度を見つめ直すよい機会となります。テストは、単に点数を競うためのものではありません。自分がどこまで理解できているのか、どこに課題があるのかを知り、次の学びにつなげるための大切なステップです。うまくいかない問題があっても、最後まで粘り強く取り組む姿勢が、皆さんを確実に成長させます。今日までの努力を信じ、落ち着いて臨んでください。

7月是一年の折り返しであり、1学期の締めくくりの時期でもあります。3年生は修学旅行で得た経験を、1・2年生は日々の学校生活で培ってきた力を、それぞれの次のステップにつなげていきましょう。期末テストに全力で取り組み、達成感をもって夏休みを迎えられることを期待しています。